

# 田植えあれこれ

鎌倉区 小野塚い子(本城町出身)

五月二十七日、J・ネットの農業体験・くわどり湯つたり村での田植えに参加しました。これまでに「ふるさと交流」で

何度か訪れたのですが、今回は現地集合でした。上信越高速道で妙義山や浅間山を眺め、妙高山に迎えられて野尻湖を一周。そして日本海へ、途中の景色を楽しんで湯つたり村、集合時間の四時少し前に着きました。

Jネットからは七名の参加。夕食前、市役所の農林水産課の方々や地元NPOの青年達に観察林Ⅱ市民の森の案内を受け、散策を兼ねた学習会。自然林の豊かさと足に伝わる土の柔らかい感じは、コンクリート社会に住む者にとって癒しである。私は今回の目的の一つに材木池のほとりにある沢胡桃の太木に会うことがあった。予想どおり、この山の主のように、うっそうとした水辺に堂々と枝を伸

ばし、花をつけていた。私はこの沢胡桃の木が好き。惹かれるものがある。

## うすきこき緑の中の沢くるみ 長き花房風にゆれおり

沈んだ池の色。生物はいないのでは思うと、案内人はブクブクした半透明のものを指差し「あれはサンシヨウウオの卵」と言う。ブナ林のふかふかした急坂の途中、私の背丈ほどの位置に熊のひっかき跡が大きく残っていた。雪のある時期のものとの説明。

ひと汗の後の温泉は嬉しい。さっぱりとして宴席へ。蒔・嶽・若竹・山独活・野沢菜・茗荷・ハスとお膳の上は地元野菜での会席料理。満足度一〇〇%。もちろん、お酒もよし。参加者の自己紹介。田んぼをお話してくださる曾我文隆氏

の有機栽培・ハサかけ乾燥など稲作にこだわるお話しを伺う。

米つくりの大変な作業の内、一番楽しい田植えを控え、早め？の就寝。

目を覚ますと天気はピーカン。めざす田んぼは棚田の一番高い所。私達を待つかのように静かに水を張り、陽に輝いていた。初体験の人のために曾我さんより、苗の持ち方、とり方、植え方まで丁寧にご指導いただき、いざ。

私ははだして田に入り、目前に現れるかわいらしい蛭には驚き、苗には「しつかり大きくなるよ」と話しかけながら、秋の収穫を楽しみにして作業をおえた。その後、曾我さんのご好意により山菜(蕨)取り、栗林の中の蕨は柔らかくて美味そう。私は二抱えも頂き、帰宅後キヤラブキにしてご近所にもおすそ分け。喜ばれました。

私は今年三ヶ所で田植えをしました。最初は地域の子供達の一米こくらブの手伝い。都下の平地の田んぼでした。手作業が終わったところへ、田植え機を使つてのデモ。それを見て「なんだよー最初からこれですればよかつたのに」の声。

そして、私の生まれ故郷松之山でのグリーンリース会員としての田植え。こちらは孫(五才)と一緒に二度目の参加前回はおたまたじゃくしと遊ぶのがやと

だった彼も今年はやる気十分。どうしても自分で植えたいと言う。二人で並んで田に入り、作業開始。後ろを振り返り「やったあー」の歓声を何度も繰返ししながら「この泥んこは濃いねえ」の名言を残し、ひと筋を植え終えました。彼には自分で作つた米で炊いたご飯、おかわりをして食べてもらいたい。八月の末には睡なき、十月には稲刈りと稲作作業をしに松之山に帰ります。とかく遠くなりがちな故郷を、グリーンリースを通じて、いつも身近に感じ、又町の人たちとも交流をもつていられることを嬉しいと思つています。

この度のJネットの農業体験は初めてで参加者も少なかったですが、これから先、いろいろな期待感を込め、多数の方々に拡がっていったらいいなと思ひます。

## 空の色うつす水面に早苗おく

